

第37回 東京新島講座

小松光代 同志社女子大学看護学部教授、中谷内一也 同志社大学心理学部教授を講師に迎え、第37回東京新島講座を開催いたします。ご来聴くださいますようご案内申し上げます。

講師・演題

応募終了

小松 光代

(同志社女子大学看護学部教授)

「健康長寿の鍵は『快眠』にあり

: 睡眠と生活習慣病・認知症との関係」



中谷内 一也

(同志社大学心理学部教授)

「人々からの信頼を高めたいなら」

日時 2020年1月18日(土) 14時00分～16時30分 (開場13時半)

会場 同志社大学 東京サテライト・キャンパス セミナー室

東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

TEL: 03-6228-7260 FAX: 03-6228-7262

会場へのアクセス: JR「東京」駅 八重洲南口徒歩6分、

東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口徒歩1分

- ❖ お申込み方法: **10月25日で定員に達しましたので応募終了となりました。**
MAIL・FAX・ハガキのいずれかでお申込みください。住所・氏名・ふりがな・電話番号をお知らせください。
複数名の場合は、全員の住所・氏名・ふりがな・電話番号をお知らせください。
- ❖ お申込み期日: 2019年12月13日(金)まで (ただし、定員に達し次第締切らせていただきます)

定員100名
入場無料

主催 学校法人 同志社

後援

同志社校友会東京支部

同志社同窓会東京支部

お問合せ
お申込み

学校法人同志社 法人部法人事務室「東京新島講座」係
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601

TEL: 075-251-3006 FAX: 075-251-4980

MAIL: ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp

第37回 東京新島講座 公開講演会

日時：2020年1月18日（土）14時00分～16時30分

場所：同志社大学 東京サテライト・キャンパス セミナー室

1. 開会
2. 挨拶
3. 講演（2部構成）

第1部

演題 健康長寿の鍵は『快眠』にあり：睡眠と生活習慣病・認知症との関係

講師 同志社女子大学看護学部教授 小松 光代

【講師紹介】

1965年生まれ。京都市立看護短期大学、聖路加看護大学(現 聖路加国際大学)卒業。同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。博士(社会福祉学)。

看護師、保健師として勤務後、京都府立医科大学医学部看護学科高齢者在宅看護学准教授を経て2015年から同志社女子大学看護学部教授。

【主要著書】

- ・小松光代, 眞鍋えみ子, 三橋美和, 岡山寧子他(2018): 女子総合大学学生の睡眠の特徴と生活習慣との関連, 同志社女子大学学術年報, 69: 73-83.
- ・山縣恵美, 小松光代, 杉原百合子, 岡山寧子他(2018): 閉じこもり傾向にある高齢者の教室型プログラム参加につながる要因と継続要因, 老年社会科学, 40(1): 42-53.
- ・小松光代, 三橋美和(2014): アクティウォッチによる睡眠測定と身体活動量、生活習慣との関連一, 京府医大看紀要, 24: 35-40.
- ・小松光代, 眞鍋えみ子, 三橋美和(2012): 日常生活行動が自立した高齢者の睡眠改善ケアのためのライフスタイルの検討, 日本生理人類学会誌, 17(3): 117-124.
- ・小松光代(種池礼子, 岡山寧子編, 分担執筆)(2012)『スキルアップパートナーズ ヘルス・フィジカルアセスメント』, p105-117, p121-133. 照林社.

第2部

演題 人々からの信頼を高めたいなら

講師 同志社大学心理学部教授 中谷内 一也

【講師紹介】

1962年生まれ。同志社大学卒業。同志社大学大学院文学研究科心理学専攻単位取得退学。日本学術振興会特別研究員、静岡県立大学、帝塚山大学教授などを経て2009年から同志社大学心理学部教授。博士(心理学)。

【主要著書・論文】

- ・信頼学の教室 講談社現代新書 2015
- ・安全。でも、安心できない… ちくま新書 2008
- ・(翻訳書) ダチョウのパラドックス：災害リスクの心理学 丸善出版 2018 (原著者 Robert Meyer & Howard Kunreuther)
- ・Effects of providing measures against earthquakes: Experimental studies on the perceived risks of disasters and disaster preparedness intentions in Japan. Natural Hazards, 90(3), 1329-1348, 2018
- ・The unintended effects of risk-refuting information on anxiety. Risk Analysis, 33(1), 80-91, 2013. (Risk Analysis 誌の2013年最優秀論文賞を受賞)

主催 学校法人 同志社